

## 5 - 7 琵琶湖周辺地方の水平歪 Horizontal Strains in the Biwako District

国土地理院測地部  
Geodetic Department, Geographical Survey Institute

琵琶湖周辺地方で実施した精密測地網一次基準点測量から求めた水平歪について報告する。

第1図は琵琶湖周辺地方の1885～1910年から1975～1977年の約80年間の水平歪である。

この地区の一等三角測量は、第2図の太線で示す野坂岳－伊吹山を結ぶ線を境として、北東側は濃尾地震の前に、南西側はその後に実施された。これに対して二等三角測量は、図中の一点鎖線を境として北東側は地震後に、南西側は地震前に実施されている。このため、当地域の水平歪の検討には、少しく注意を要する。

琵琶湖北東部の変化量は比較的大きく、 $2 \sim 5 \times 10^{-7}$  / 年となっているが、これは既に報告済の北側隣接部の値と合っている。

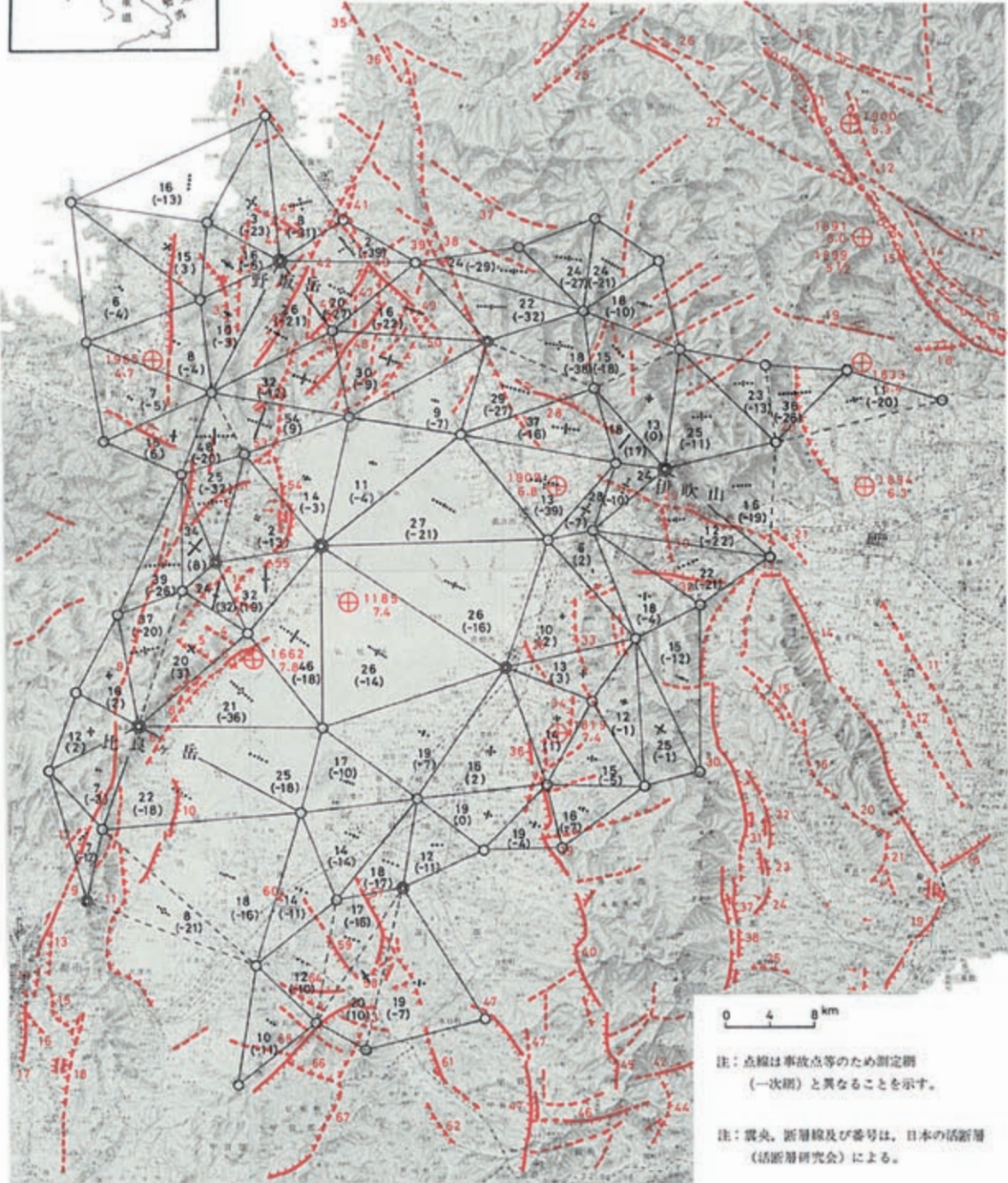
琵琶湖北西部でもやや大きな変化量が見られ、概ね、南下するに従って小さくなっている。



1975~1977-1885~1910  
(一次網) (明治)

40x10<sup>-6</sup>伸び  
縮み 主軸  
⊕ 一等三角点本点  
⊙ 一等三角点補点  
○ 二等三角点

数値 最大せん断歪10<sup>-6</sup>  
( ) 面積変化率10<sup>-6</sup>



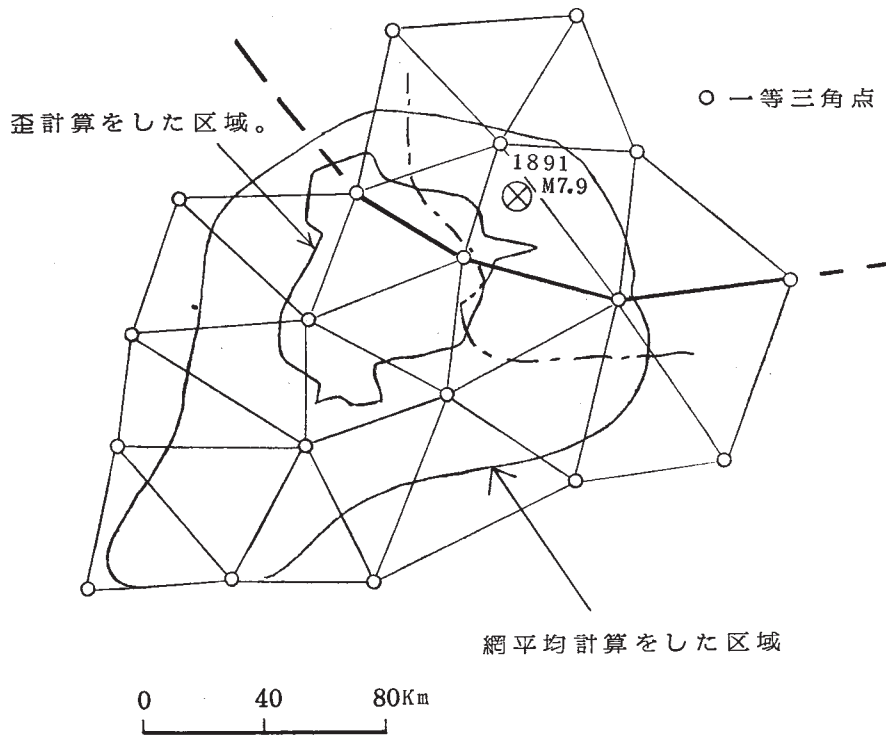
第1図 琵琶湖周辺地方の水平歪

Fig. 1 Horizontal Strains in the Biwako District.

1975~1977 - 1885~1910  
(一次網) (明治)

一等三角測量の観測は——線を境にして、北東側は1895～1897(地震後)に、南西側は1885～1888(地震前)に実施された。

二等三角測量の観測は- - - -線を境にして、北東側は1903～1910(地震後)に、南西側は1887～1888(地震前)に実施された。



第2図 明治三角測量の観測実施年とその区域

Fig. 2 Periods and regions that Meiji triangulation was executed.